

2023年2月9日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長グループ CEO
 里 見 治 紀
 (コード番号 6460 東証プライム)
 問 合 せ 先 常務執行役員経営企画本部長
 高 橋 真
 (電話番号 03-6864-2400)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表した通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 375,000	百万円 40,000	百万円 40,000	百万円 28,000	円銭 126.83
今回発表予想 (B)	381,500	45,000	46,000	31,500	142.66
増減額 (B-A)	6,500	5,000	6,000	3,500	—
増減率 (%)	1.7	12.5	15.0	12.5	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	320,949	32,042	33,344	37,027	158.85

(参考情報：2023年3月期通期業績予想セグメント別内訳)

(単位：百万円)

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	375,000	381,500	6,500
		エンタテインメント コンテンツ事業	277,000	280,000	3,000
		遊技機事業	86,000	89,000	3,000
		リゾート事業	11,500	11,500	—
		その他/消去等	500	1,000	500
経常利益	内訳	合計	40,000	46,000	6,000
		エンタテインメント コンテンツ事業	40,000	41,000	1,000
		遊技機事業	12,000	17,500	5,500
		リゾート事業	△3,000	△3,000	—
		その他/消去等	△9,000	△9,500	△500

■ 通期連結業績予想修正の理由

エンタテインメントコンテンツ事業及びリゾート事業は前回予想と同程度の水準で推移しておりますが、遊技機事業が好調に推移していることから、売上高・各段階利益が前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、現段階で合理的な税率を算出することが困難であることから、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては簡便的に税率 30%にて算出しております。

事業別の状況については下記のとおりです。

(エンタテインメントコンテンツ事業)

コンシューマ分野においては、フルゲームの一部新作やリピートタイトルの販売が想定を下回っていることに加え、期末に棚卸資産の資産性再評価に伴う費用計上を見込んでおります。一方で、『ソニックフロンティア』等の主力新作フルゲームタイトルや、F2P タイトルが好調に推移したほか、為替による業績への押し上げ効果もあったことから、営業利益は概ね前回予想と同水準となる見込みです。

AM 機器分野においては、プライズカテゴリーの根強い需要を背景に、UFO キャッチャー®シリーズやプライズ等の販売が好調に推移しており、売上高は前回予想を上回る見込みです。一方で、原材料高騰等の影響を受けて、営業利益は前回予想を下回る見込みです。

映像・玩具分野においては、映像配信収入等が好調に推移していることなどを主因に、営業利益は前回予想を上回る見込みです。

(参考情報：エンタテインメントコンテンツ事業サブセグメント別内訳)

(単位：百万円)

サブセグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	277,000	280,000	3,000
		コンシューマ分野	192,000	188,000	△4,000
		AM機器分野	55,800	63,500	7,700
		映像・玩具分野	28,700	28,000	△700
		その他/消去等	500	500	—
営業利益	内訳	合計	39,000	39,500	500
		コンシューマ分野	34,500	34,500	—
		AM機器分野	3,300	1,800	△1,500
		映像・玩具分野	3,000	4,000	1,000
		その他/消去等	△1,800	△800	1,000

(遊技機事業)

パチスロ機、パチンコ機ともに一部主力タイトルの納品時期を来期以降に延期した一方で、期中の販売タイトルは概ね堅調に推移しております。パチスロ機については、『パチスロ甲鉄城のカバネリ』等の好調を受け、販売台数計画を 90,000 台（前回予想 84,000 台）に修正いたしました。パチンコ機については、一部タイトルの延期の影響を補うには至らず、販売台数計画を 100,000 台（前回予想 114,000 台）に修正いたしました。相対的に利益率の高いパチスロ機が前回予想を上回って推移していることに加え、固定費についても当初想定より低水準で推移していることから、売上高・経常利益ともに前回予想を上回る見込みです。

(リゾート事業)

国内、海外ともに新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和され、当初想定通りに収益が回復していることから、前回予想と同程度の水準にて推移する見込みです。

※本資料内に記載した業績予想等につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上